

---

すずむし

SUZUMUSHI

Vol. 5 No. 2

1955年 2月

倉敷昆虫同好会

## 備南の蝶の初発日調査記録 (1952年度)

## (II)

広 瀬 義 躬

## § 4 本 文

## I. セセリチョウ科

- 1) ミヤマセセリ (1♂) 3. 26 総社町門田 (歌村) ±  
3月下旬(25日以後)より発生、4月に入ると確実に見られる
- 2) ホソバセセリ (一) 7. 5 総社町門田 (水野) + [第1化]  
7月中旬(第1化)
- 3) ヘリグロチャバネセセリ (2) 6. 15 藤崎町タコラ山 (松井)  
備南地域での最初の記録である。その後6月下旬まで採集されている。
- 4) キマダラセセリ (数頭) 6. 15 清音村黒田 (広瀬義) ± [第1化]  
6月上・中旬(第1化)
- 5) コチャバネセセリ (2) 4. 27 黒 田 (広瀬義) + [第1化]  
5月上旬(第1化)
- 6) オオチャバネセセリ (2) 5. 31 総社町田町 (水野) ± [第1化]  
6月上旬(第1化)
- 7) チャバネセセリ (2) 6. 7 総社町門田 (水野) ± [第1化]  
6月上・中旬(第1化)
- 8) イチモンジセセリ (1) 5. 28 田 町 (水野) ± [第1化]  
5月下旬(第1化)
- II. アゲハチョウ科
- 9) アオスジアゲハ (1) 4. 26 岡山市浜 (小野悦) + [第1化春型]  
5月上旬(第1化春型)
- 10) ヤアゲハ (1♂1♀) 4. 11 総社町西中学校附近 (歌村) ± [第1化春型]  
4月中旬(第1化春型)  
[参 考] (一) 6. 7 総社町門田 (歌村) [第2化夏型]
- 11) アゲハ (1) 3. 26 岡山市津島 (小野洋) + [第1化春型]  
春季における本種の出現状況については既に本誌上に筆者が詳述しておいた。(Vol. 2号9 1952年  
春季のアゲハチョウの発生記録、参照) 連日見られる様になった時を標準初発日とすれば4. 16  
となるが、実際はこれより少々早いと考えた方がよいであろう。平年では4月上旬。  
[参 考] (一) 6. 7 総社町西中学校附近 (歌村) [第2化夏型]
- 12) クロアゲハ (1) 4. 11 総社町桜谷 (歌村) ++ [第1化春型]  
4月下旬(第1化春型)
- 13) モンキアゲハ (1) 5. 25 総社町門田 (歌村) [第1化春型]

特殊な記録であるが、近年における春季の本種の記録として珍しいものと思う。

### Ⅲ. シロチョウ科

- 14) ヤチョウ (1) 2. 29 総社町西中学校庭 (荒木) 土 [越冬]  
3月上旬(越冬)  
[参 考] (1合) 5. 25 総社町門田 (歌村) [第1化夏型]
- 15) ツマグロキチョウ (2) 4. 3 総社町門田 (歌村) 土 [越冬]  
(水野)
- 16) モンキチョウ (2) } 3. 29 { 倉敷市酒津 (広瀬義) } 土 [第1化]  
(1) } { 総社市門田 (歌村) }
- 3月下旬 この時観察された3頭はすべて黄色型(第1化)
- 17) ツマキチョウ (1合) 4. 3 桜 谷 (歌村) 土  
3月下旬~4月上旬
- 18) モンシロチョウ (1) } 3. 9 { 田 町 (滝本) } -- [第1化春型]  
(1) } { 黒 田 (尾崎山畑) }
- 本種の春季の出現状況については、やはり本誌 Vol. 2 49 (1952年初春のモンシロチョウの発生小録、参照) に詳述しておいた。その標準初発日は3/15。半年では2月下旬~3月上旬。
- [参 考] (2合) 5. 18 総社町門田 (歌村) [第2化夏型]
- 19) スジグロシロチョウ (1♀) 3. 15 倉敷市住吉町 (近藤中塚) + [第1化春型]  
3月下旬(第1化春型)

### Ⅳ. シジミチョウ科

- 20) ウラギンシジミ (1♀) 3. 15 岡山市門田 (広瀬義) + [越冬]  
(-) 6. 7 総社町門田 (水野) 土 [第1化夏型]  
3月下旬(越冬)、6月上旬(第1化夏型)
- 21) ムラサキシジミ (1合) 2. 24 倉敷市鶴形山 (水野) + [越冬]  
(-) 6. 7 総社町門田 (水野) + [第1化]  
3月上旬(越冬)、6月中旬(第1化)
- 22) アカシジミ (多数) 6. 7 総社町門田 (水野) -  
5月下旬~6月上旬
- 23) ウラナミアカシジミ (1合) 6. 4 総社町門田 (歌村) +  
6月上旬~中旬
- 24) ミズイロオナガシジミ (1合) 6. 1 総社町門田 (佐伯) +  
6月上旬
- 25) ウスイロオナガシジミ (1合) 6. 15 黒 田 (広瀬義) 土  
6月中旬
- 26) オオミドリシジミ (多数) 6. 4 総社町門田 (歌村) 土

6月上旬

27) ウラジロミドリシジミ (一) 6. 11 黒田 (水野) 土

6月中旬

28) コツバメ (2) 3. 21 総社町門田 (歌村) 土

3月下旬

29) ベニシジミ (1) 3. 16 (小野洋) 土 [第1化春型]  
(1♀) 6. 10 岡山市網浜 (広瀬義) 土 [第2化夏型]

3月中旬～下旬(第1化春型) 6月上・中旬(第2化夏型)

30) ヤマトシジミ (1♂) 3. 29 倉敷市田之上 (広瀬正) 土 [第1化春型]  
(1♂) 6. 10 網浜 (広瀬義) 土 [第2化夏型]

4月上旬(第1化春型) 6月上・中旬(第2化夏型)

31) シルヴィアシジミ (28♀) 5. 11 総社町門田 (歌村) 土 [第1化春型]

5月上旬(第1化春型)

32) ルリシジミ (1) 3. 20 岡山市門田 (広瀬正) 土 [第1化春型]  
(4♂) 6. 6 岡山市門田・網浜 (広瀬義) 土 [第2化夏型]

3月中・下旬(第1化春型) 6月上旬(第2化夏型)

33) ツバメシジミ (1♂) 3. 29 酒津 (広瀬義) 一 [第1化春型]

3月中旬～下旬(第1化春型)

## V. テングチョウ科

34) テングチョウ (1) 3. 15 田町 (滝本) 土 [越冬]

3月中・下旬(越冬)

## VI. マダラチョウ科

35) アサギマダラ (1♂) 9. 24 黒田 (広瀬義) 土

当地域においては秋期にのみ見出される。果して土着しているか否か疑問である。北部の山嶺からの風による漂来説、気温低下に伴う南下説等もある。これより早い8月の記録が総社町にあるが、日付が不明なので記載しなかった。毎年9月下旬頃より見出されるが10月の記録が多い。

## VII. タテハチョウ科

36) メスグロヒョウモン (2) 5. 25 総社町門田 (歌村) 土

5月下旬

37) クモガタヒョウモン (1♂) 5. 11 黒田 (若林近藤) 土

5月中旬

38) オオウラギンヒョウモン (1♂) } 6. 17 黒田 (広瀬正) 土  
(一) } 清音村清音 (水野)

6月中旬

- 39) ツマグロヒョウモン (1♀) 5. 12 総社町西中学校附近 (水野) -- [第1化]  
 4月下旬~5月上旬、本例よりもずっと早い4月下旬の記録を知っていたが、記録落で忘失。  
 4. 29~5. 3には毎年確実に見られるようである。
- 40) コミスジ (1) 4. 19 総社町門田 (水野) + [第1化]  
 4月下旬 (第1化)
- 41) ホシミスジ (1) 5. 18 鶴形山 (近藤) ++ [第1化]  
 5月下旬~6月上旬 (第1化)
- 42) キタテハ (1) 1. 4 田之上 (広瀬義) [越冬-異常的]  
 (2) 3. 9 総社町八代 (塩見) ± [越冬]  
 (1) 6. 4 総社町門田 (歌村) - [第1化夏型]  
 3月上旬 (越冬)、5月下旬 (第1化夏型)
- 43) ルリタテハ (1) 3. 16 黒田 (水野) ± [越冬]  
 3月中旬 (越冬)
- 44) ヒオドシチョウ (多数) 3. 17 山手村福山 (水野) ± [越冬]  
 (1) 6. 4 総社町門田 (歌村) ± [産生]  
 3月中旬 (越冬)、5月下旬~6月上旬 (産生)
- 45) ヒメアカタテハ (1) 6. 15 酒津 (広瀬義) - [第1化]  
 本種を春季見ること稀で、その出現期も明らかでない。稀少い越冬成虫の産卵により生じた  
 第1化成虫は6月に見られるが少く、秋期に至って始めて普遍的となる。本調査地域外で越冬  
 成虫出現の次の記録があるので〔参考〕としておく  
 [参 考] (1) 3. 29 池田村豪溪 (水野)
- 46) アカタテハ (1) 3. 3 総社町西中学校庭 (歌村) ± [越冬]  
 (1) 5. 29 岡山市門田 (広瀬正) ± [第1化]  
 3月上旬 (越冬)、6月上旬 (第1化)
- 47) コムラサキ (2♂) 5. 22 倉敷市羽島山 (友野) + [第1化]  
 5月下旬~6月上旬 (第1化)
- 48) ゴマダラチョウ (1) 5. 28 倉敷市上富井 (三村) - [第1化春型]  
 5月中旬~下旬 (第1化春型)
- Ⅷ. ジャノメチョウ科
- 49) ヒメウラナミジャノメ (1) 4. 19 総社町門田 (水野) + [第1化]  
 4月下旬 (第1化)
- 50) ウラナミジャノメ\* (1) 6. 15 夕コラ山 (松井) [第1化]  
 備前地域での最初の記録で特殊なものであるが、丁度この頃が当地域では産生初期と思われる  
 から記しておく。その後6月下旬まで採集されている。
- 51) ジャノメチョウ (-) 6. 17 総社町門田 (水野) ++

7月上旬

52) ヒカゲチョウ (一) 5. 31 総社町門田 (歌村) + [第1化]

6月上旬(第1化)

53) マダラヒカゲ (多数) 4. 19 総社町門田 (水野) ± [第1化]  
(歌村)

4月下旬(第1化)

54) ヒメジャノメ (1) 5. 11 総社町門田 (水野) ± [第1化]

5月中旬(第1化)

(完)

## § 5 あ と が き

3年前、力をついで行った調査の結果を整理して、今一覽する時、その後の同好会並びに会員諸氏の変化を考え及んで、全く感慨無量である。現状では、とてもこのような調査は望むべくもないが、又、いつかどなたかの手でせられる時もあるかと思う。

この調査結果より考えられる事は色々あるが、今それを云々する暇は私には全然ない。いずれ私も出現期の事項をも含めた倉敷産蝶誌とでもいうべきものをまとめる希望を持っているので、その完成を御期待願ってかく筆したい。(9/I. 1955)

理 化 学 器 械	生物・地学標本模型	テ ー プ コ ー ダ ー
	昆虫採集用具	
	テレビ・ラジオ・真空管	
	島津製作所岡山県代理店	
<b>サカ工商会</b>		
倉敷市栄町(赤木病院西) 電話 913番		

志 賀 製 品
昆虫・植物採集用具
理 化 学 器 械
岡山市西中山下(柳川交叉点東)
<b>長 瀬 教 育 堂</b>
電 話 4725 番

## 編 集 後 記

やゝ原稿の冬枯れと云った状態。冬には過ぎ去った夏に行われた研究調査の発表なり、採集記なり、もっともっと御投稿下さって、冬季の誌上を賑わしていただきたいと思ひます。

すずむし 第5卷 第2号 昭和30年 2月 28日印刷  
昭和30年 2月 28日発行

編集兼者 倉敷市住吉町 岡山大学農業生物研究所  
害虫学研究室内

倉敷昆虫同好會